

日本脳炎の予防接種について

平成17年の積極的な接種勧奨の差し控えにより、接種対象期間（3才～7才6ヶ月未満）に第1期日本脳炎の接種が3回受けられなかった方が、第2期の接種期間（9才～13才未満）に接種する事が可能となりました。下記を参考に3回接種が済んでいない方は接種してください。

これまでの接種回数	接種期間
0回 → 残り3回	3才～7才6ヶ月未満
1回 → 残り2回	または
2回 → 残り1回	9才～13才未満

※7才6ヶ月以上、9才未満にある年齢の方は、対象の年齢になってからの接種となります。

ワクチンの供給量が十分ではない為、現時点では第1期接種が3回済んでいない方が優先的に接種していただく事になります。そのため第1期の接種が3回済みであり、第2期の接種の対象年齢に当たる方で接種を希望される場合は、接種される病院の医師とご相談ください。

問い合わせ 町民福祉課子育て支援室 TEL377-5652

くらしの注意 災害予防対策

三重県では、現在も含めて近い将来、東海地震、東南海地震、南海地震等の発生が心配されています。日ごろから災害に備えておきましょう。

①非常持ち出し袋を準備しましょう！

いざというとき、すぐに持ち出せる場所に備えておきましょう。
男性15kg、女性10kgまでが目安です。

（非常持ち出し品の例）

【食料品等】 飲料水・食料（乾パン、クラッカー、缶詰等）・缶切り・ナイフ

【衣類等】 衣類（上着・下着類）・タオル・毛布

【安全対策】 救急セット・常備薬・ヘルメット・防災ずきん・マスク

【日用品】 携帯ラジオ・懐中電灯・洗面用具・軍手・携帯用カイロ・ちり紙・雨具

【貴重品】 現金（小銭）・預金通帳・印鑑・保険証コピー



②飲料水・食料を備蓄しましょう！

地震の直後は飲料水や食料が十分に確保できません。救援活動を受けられるまでの間の必需品は、各家庭で十分に備えておく必要があります。

家族構成に合わせ、一人あたり最低3日分の飲料水（1人あたり1日に3リットル）や食料などを準備しておきましょう。

③家具類を固定しましょう！

阪神・淡路大震災では、家具類の転倒による死傷のほか、家具類の下敷きになり屋外に避難できず延焼火災の犠牲となったケースもありました。